

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業の 今後の推進方策について(アクションプラン)

中間評価結果を受け、システムとして成果を創出して政策形成の実践につなげていくための取組や、「政策のための科学」と「政策形成プロセス」の共進化のより一層の推進を実施するため、以下のアクションプランを実施

① ガバナンスの再設計

- 現行の推進委員会の助言機能と統括機能を分割し、「アドバイザリー委員会」(助言機能)と「運営委員会」(統括機能)を新たに設置。
- **アドバイザリー委員会**は有識者で構成。「政策のための科学」の「科学」はどうあるべきかといった全体の方向性等について議論し、文部科学省に対して助言。
- **運営委員会**は各プログラムの実施機関の実務責任者で構成。**事業の実施方法・内容の調整等を実施。**

② 中核的拠点機能の充実と関係機関間の連携強化

- 中核的拠点機能の一層の充実・強化を実施し、SciREXセンターを**ネットワークの形成や成果の政策形成への橋渡しのハブ**として一層機能させる。
- 具体的取組の一つとして、**SciREXセンターが中心となって、関係機関(各拠点、RISTEX、NISTEP、CRDS)が連携して、共通の重点課題に基づく研究開発プログラム・プロジェクトを実施し、具体的な成果の創出を目指す。**
- 現職行政官からなるSciREXセンターの**政策リエゾンネットワーク**を活用し、**研究活動と実際の政策形成の現場のつなぎを支援。**

②-1 SciREXセンター領域／プロジェクト

- 重点課題に基づき、SciREXセンターが研究開発プロジェクトを実施し、**政策形成の実践につながる具体的な成果の創出**を目指す。

②-2 拠点間連携プログラム／プロジェクト

- 重点課題に基づき、各拠点が連携して研究開発プロジェクトを実施し、**連携の強化と政策形成の実践につながる具体的な成果の創出**を目指す。

②-3 RISTEX公募型研究開発プログラム／プロジェクト

- 個々の研究開発プロジェクトを通じて**重点課題の解決に資すること、人材ネットワークの拡大に資すること**をプログラム目標とする。
- 重点課題に基づき、**政策形成の実践に将来的につながりうる新手法・新指標等の開発**を行う公募型のプロジェクトを実施。

③ コアカリキュラムの確立

- SciREXセンターや各拠点等が協力し、**H28年度からの試行的な導入を目指してコアカリキュラムの検討を進める**(H27年度に検討グループを発足済み)。
- コアカリキュラムの検討に当たっては、文部科学省が行う、政策担当者を対象とした研修プログラムの開発・試行と連携。